

再評価実施事業調書

番号		事業名	都市基盤河川改修事業		路線又は箇所名等		(一)二重川	
事業所管課		都市河川課		事業主体		千葉県船橋市		
事業化年度	平成6年	用地着手年度	平成8年	工事着手年度	平成11年	再評価の理由		
費用便益比 B/C	4.69	総費用	36.4億円	総便益	170.8億円	基準年	平成15年	

事業概要

(目的)

二重川の流域は船橋市、鎌ヶ谷市、白井市の3市にまたがり、千葉市中心部より北西へ20km、首都東京より北東へ25～30km圏内に位置し、千葉ニュータウンの大規模開発を始めとし、都市近郊のベッドタウンとして都市化の著しい地域である。二重川下流部(神崎川合流点～富ヶ沢橋)の4.02kmは確率1/50年規模で現在河川改修事業が実施されている。上流部においては浸水被害が頻繁に発生している状況にあるため、上流の治水安全度を向上させ下流と同等の治水安全度を確保するものである。

(主な実施内容)

- 河道改修(河道拡幅、掘削、築堤)
二重川上流(富ヶ沢橋～井草排水路合流点)L=2,410m

事業の進捗状況(都市基盤河川改修事業(二重川(上流))を対象)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	進捗率(%)
全体	33.24	25.77	78
工事	18.84	11.87	63
用地	14.40	13.9	97

社会経済情勢等

流域状況

二重川の流域は、近年都市開発が進んだことにより浸水被害が増大しており、平成に入ってから10回以上の浸水被害が発生しているため、早急な治水安全度の向上が必要となっている。

事業の実施

平成6年度の二重川改良工事全体計画(上流)認可をもとに河道拡幅、掘削、築堤工事を行い河積の拡大を行う。河川改修にあたっては、河川環境に配慮した多自然型川づくりを実施する。

主な水害状況

昭和58年6月(大雨)	平成3年10月(台風21号)	平成5年8月(台風11号)
・浸水戸数:60戸	・浸水戸数:24戸	・浸水戸数:181戸
・浸水面積:15.4(ha)	・浸水面積:55.9(ha)	・浸水面積:43.8(ha)

投資効果

- ・浸水戸数:46戸
- ・浸水面積:43ha

その他(関連事業)

広域基幹河川改修事業A 一級河川神崎川(二重川) S54～

対応方針(案)

事業継続とする

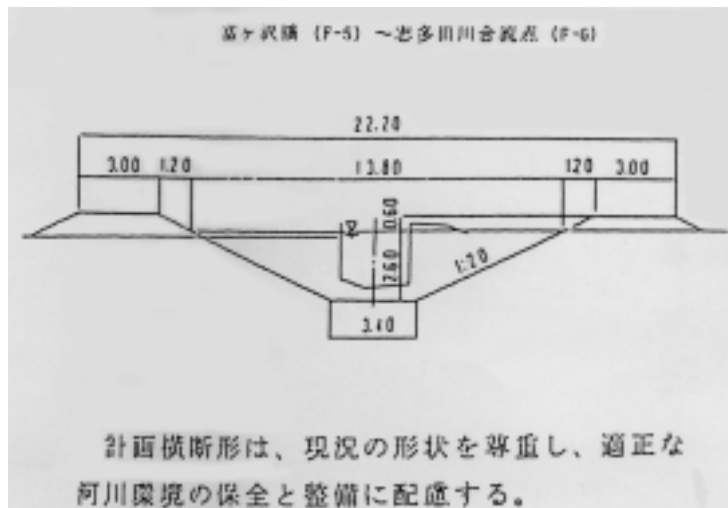
事業概要図

番号		事業名	都市基盤河川改修事業	路線又は 箇所名等	(一)二重川
----	--	-----	------------	--------------	--------

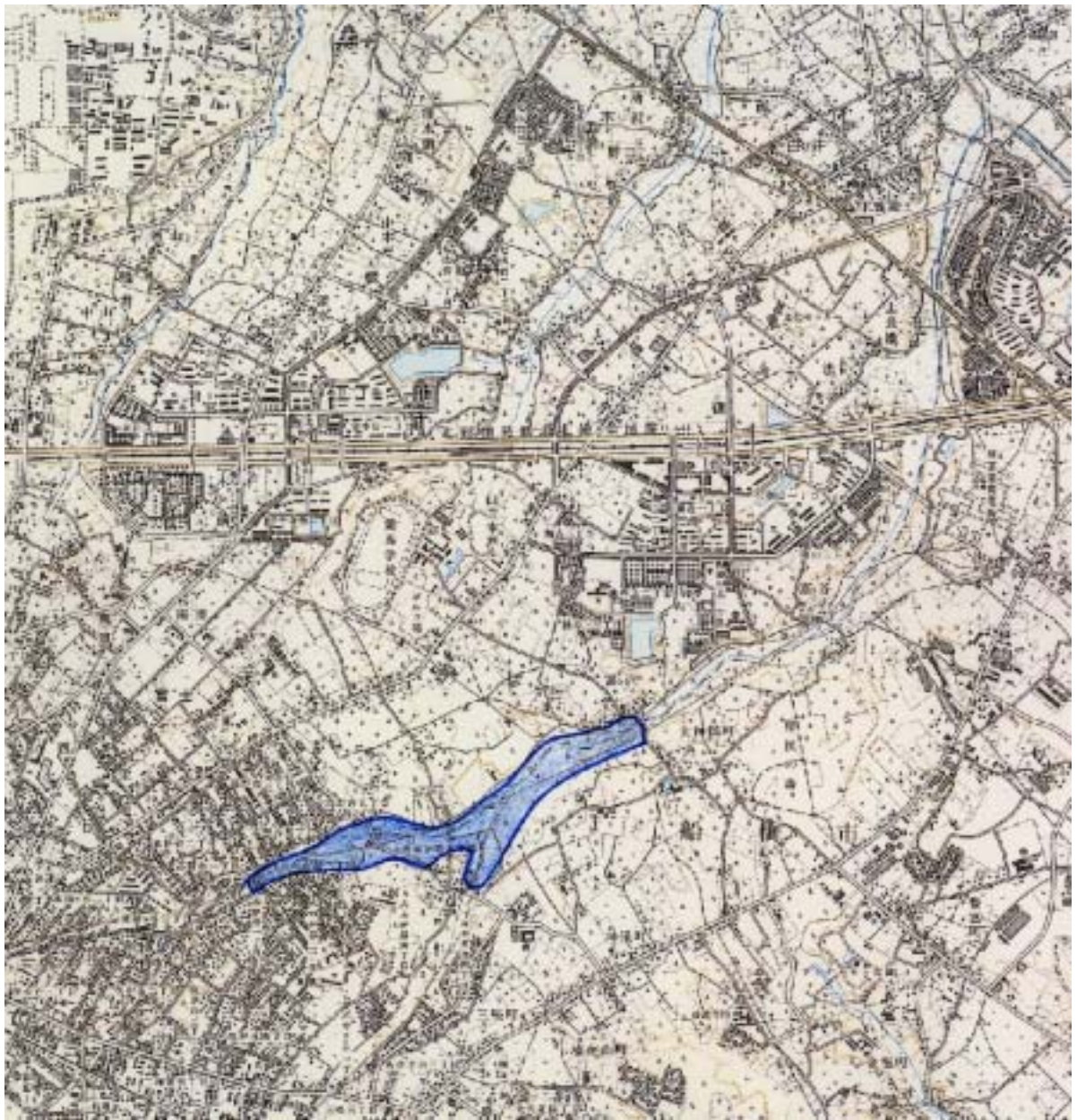
計画平面図



代表断面



想定氾濫区域図



事業再評価（二重川）について